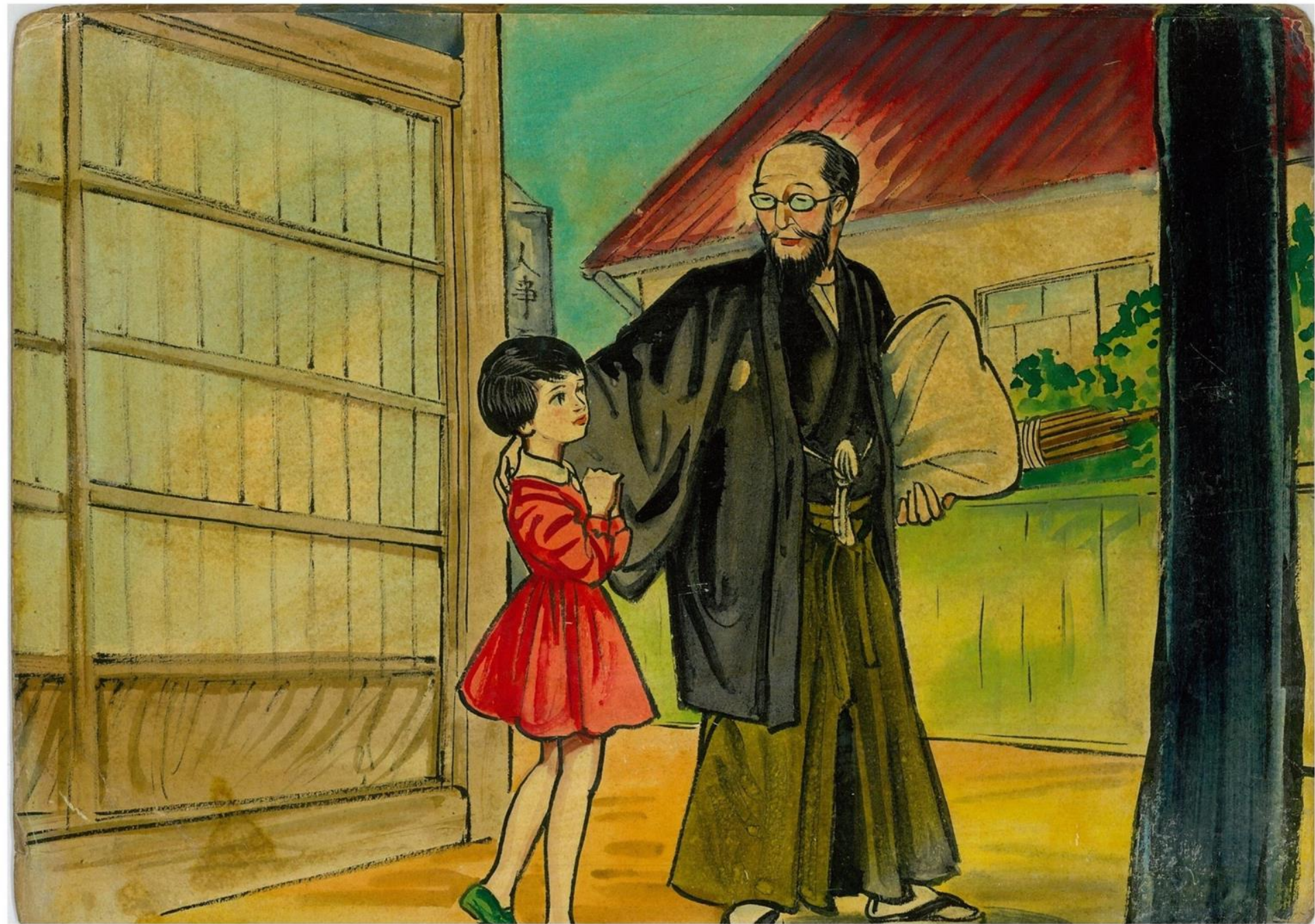


トムと一諸に

No. 12

自由社





12-1

夕方になつた。高売に
 ぶかよつとすま。天雲堂おじさん
 も、ちえ子は送るでた。
 ちえちゃん、ええもたまん
 ーだよ。今に、ふもコトあるさ
 12天雲堂は、ちえ子の
 肩カタに、手テもかけ、やさしく
 いふ。

東京都江戸

永田為春

電話(五五五)五九一一番



12-2

4
5
子

やさしいに文士さん
ヤシヨウ

なうら
し

3 遠トオざかりゆく天雲堂
おじさん

—の後姿を見送り

12 ちあからちえ子は心の

中が別れを告げた

東京都江戸川区廣徳五丁目
永田為春
電話(五七五)五九一一番



12-3

そのまゝ、ちえ子は、とここと

ゆう^{アチ}当もなしに^{アチ}歩かき

だした、^この^{カワイ}哀そうな

4 ちえ子は、どここえ

1 ス ゆくの^{犬の}せううが

こい^{犬の}で、^{犬の}話は、又、^{犬の}トムの

方に、移ろえ、行きまます

東京都江戸川区臨海五丁目 一〇一五

永田為春

電話(美光)五九一一番





12-5

12-6

犬とりは向うへ歩かま
だし犬のトムはサッポロ
敷布を見つけると

くわえあげた

あの人か

サイフも

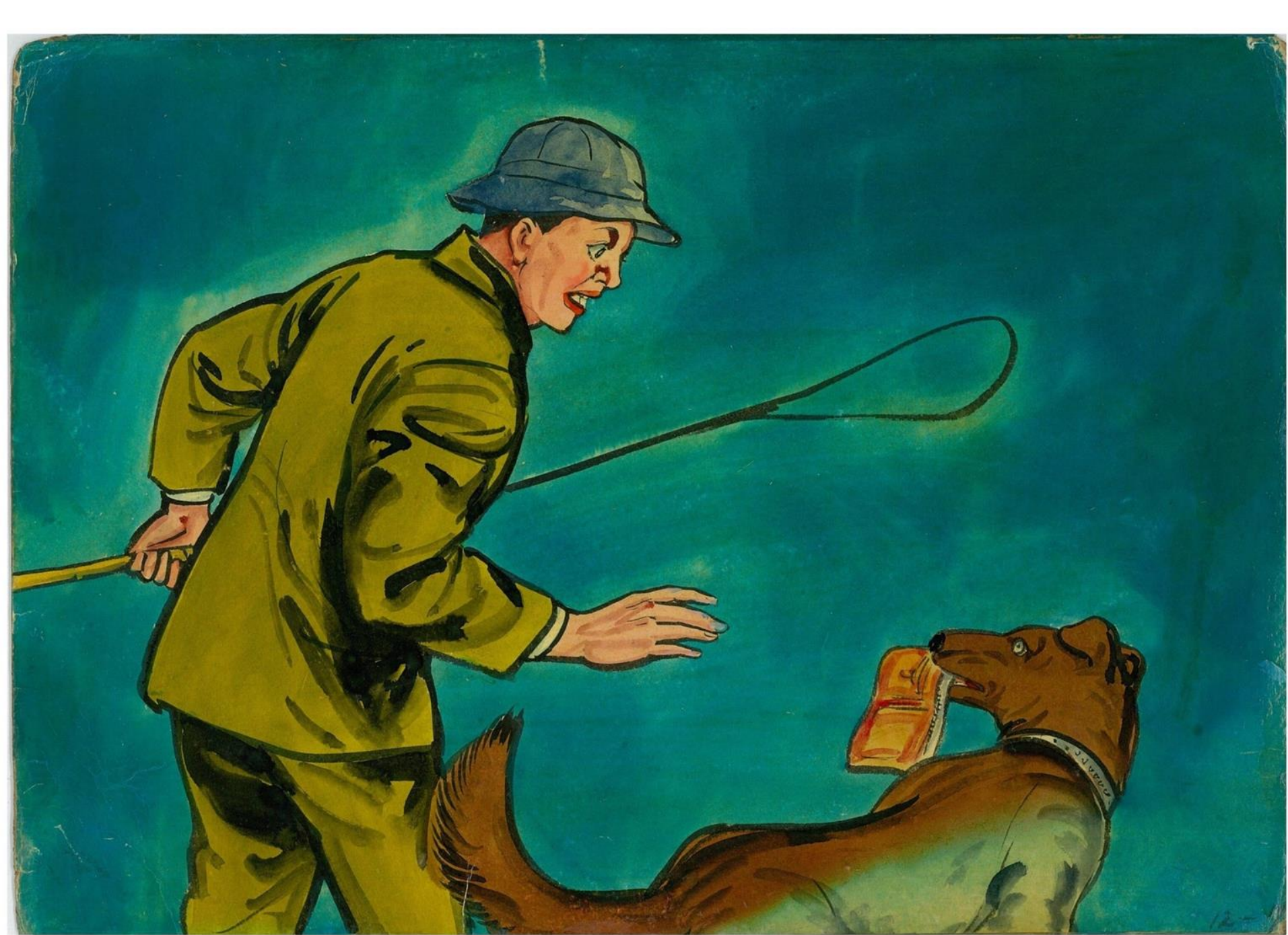
あんなにたのび

侍る居つてやる

東京都江戸川区臨海五丁目一七十五

永田為春

電話(五七七)五九一一番



12-6

トムは犬飼りの前に^{マエ}ひまると

財布も見せた。

^命何だ、あやッ、その財布。

ク俺のせよ、落し玉のやつよ

ス— 中々利巧な犬だ

も有難うし

トボ
マを
あつけ
あつけ

東京都江戸川区

永 日 春

電話(三栄丸)五九一一番



12-7

トムは、お方にかけして
いっせ、和かいと見送
そんぞ、犬とりは

8. ~~あ~~あ、あの犬つかまへ

は、なくちや、俺は

犬捕りな、いせ、つ

ヤイ、待て、し

東京都江戸川区麻生五丁目一十五

永田為春

電話(呉克)五九一一番



12-8

犬捕りから逃れたいが

こまどまど来るとお方から

見るからに強そいな

犬を連れい散^{サン}歩^ホのして

一^イ男^オの^ノ人^ニに^ニお^テ会^アえ

その犬はトムを見るこ

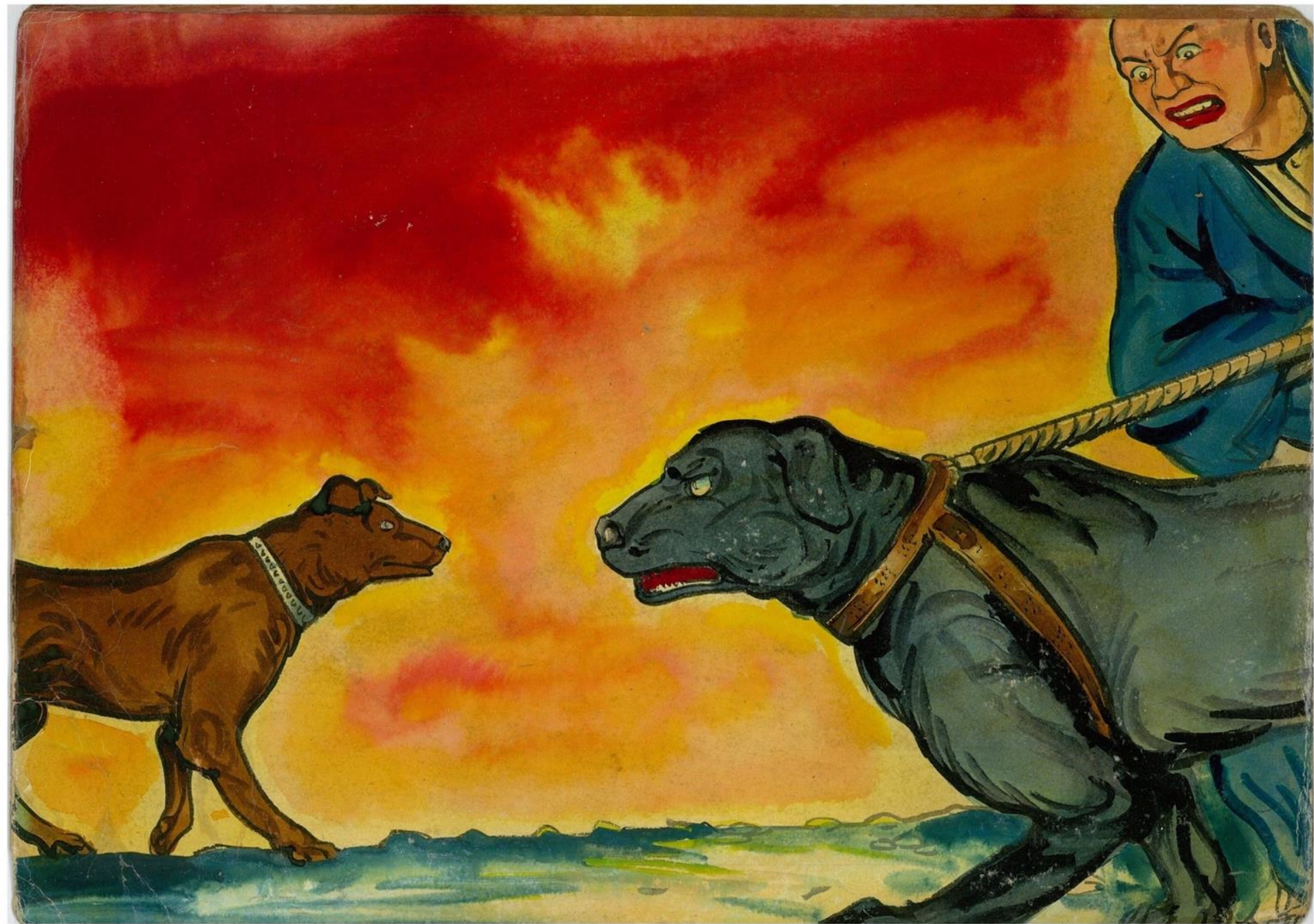
斗^タう^カ作^{タイ}勢^{セイ}力をとること

大^ウい^ナう^ナと^ウ会^ナえ

東京都江戸川区鹿骨五丁目一七一五

永田為春

電話(三宅)五九一一番



12-9

コウ タにーッ し

トムに かつろい 中こうと

する 飼犬カイヌの 網ツナを

—10 引ヒキつ ぼろい 主人は

え ちしなめ だが 傍ナニしる

1 大きな犬を 自令の

自由にならうない

その中うちに

東京都江戸川区鹿骨五

永田 春

電話(五七五)五九一一番



12-11

12-10

主人を振高しセク

は
ウー
ワンツ
ワンク

猛然物凄じ勢カ

トムを追いかけ

が果してトムは

東京都江戸川区鹿

永田

電話(三三九)五九一一番

春

12-10

トムと

一諸に

才十二卷終

東京都江戸川区鹿骨五丁目

永田為春

電話(三宅)五九一一番